

ごみ処理広域化基本構想について

基本構想策定方針

- ① 広域で建設する共同処理施設は、焼却処理施設を基本として、基本構想では再資源化施設のあり方についても検討する。
- ② 処理方式は、安定的なごみ処理システムの構築を念頭に、確立された技術と、豊富な実績を考慮して選定する。
- ③ 地球温暖化などの環境対策として、効率的なエネルギー回収や、省エネルギー・再生可能エネルギーについても、積極的な導入を検討する。
- ④ 事業の円滑な推進に向け、地域貢献方策として環境学習機能の付加、周辺施設との連携体制、周辺環境整備などを検討する。

基本構想の構成

- | | |
|---------------|------------|
| I 策定趣旨 | VI 建設用地の設定 |
| II 実態と方向性 | VII 跡地利用計画 |
| III 広域処理の基本方針 | VIII 概算事業費 |
| IV 事業主体 | IX 財源計画 |
| V 施設基本構想 | X スケジュール |